

て、「これまでほとんど見落されていた、新しい研究分野」(本書のまえがき)にメスをいれた業績として注目にあたいたいものである。しかしこれとても充分に説明の手がくわえられたわけではなく、著者によってさらにくわしい解析がなされるのを心から期待している。

第五章では神奈川県に関係ある医人として、杉田玄白、野口英世などをとりあげ、その人達の足跡をおって医療史の一駒を浮き彫りにしている。その見出しを列挙してみると、「野口英世と横浜検疫所」「長与専斎と鎌倉」「松本良順と大磯海水浴場」「葉山海岸のベルツの碑」「稲村ヶ崎コッホ記念碑」「杉田玄白と磯子区杉田町」などである。

横浜市西区医師会長や県支払基金審査委員などの要職にあり、開業医としても盛業の著者が、このような密度の濃い著書をまとめたことにはたいして深く敬意を表するものである。標題は『かながわの……』であっても、ひろく各地の蘭学に通ずる内容をもっているので、わが国の医学の発展をあとづける好個の資料となるにちがいない。秋山書房(横浜市磯子区森三三一一七)、B 6判・一七六ページ。定価一三〇〇円。

(深瀬泰旦)

雑報

正誤表

第三十巻一号

深瀬泰旦「川崎市蟹ヶ谷にある幕府医官人見氏の塋域」

ページ	行	誤	正
十八・十九	訂正箇所多い為別紙を添付		
三十	三	〇	先

第三十巻一号

添川正夫「牛痘種痘法奨励の版画について」

ページ	行	誤	正
六二	終りより七行目	示令を	止令を
六七	一行目	アモイ	マカオ
七〇	終りより四行目	宗健	宗建
七一	最終行	迷を疾りて	迷をさりて
七七	六行目	嘉永三戌年	嘉永三戌年
八一	終りより七行目	待医	侍医
八二	終りより二行目	桑田立親	桑田忠親
八三	六行目	桑田立親	桑田忠親
	三行目	vaccination	vaccination

第三十卷二号

深瀬泰旦「幕末における医学研修」

ページ	行	誤	正
一四一	上段終より三行目	『眼科錦表』	『眼科錦囊』

丸山敏秋「内藤希哲の医説」

ページ	行	誤	正
二三七	下段六行目	筑波大学大学院 哲学思想研究科	北里研究所附属 医学総合研究所 東洋